

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月21日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901761		
法人名	有限会社 あらた		
事業所名	グループホーム あらた		
所在地	北海道旭川市豊岡8条1丁目3番20号 (電話) 0166-34-1297		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年6月20日	評価確定日	平成19年7月2日

【情報提供票より】(平成19年6月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年7月12日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	24 人	常勤	20人, 非常勤 6人, 常勤換算 15人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,600 円	その他の経費(月額)	8,000 円	
敷金	有() 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 1,300 円			

(4) 利用者の概要(6月8日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	6 名	要介護4	5 名		
要介護5	2 名	要支援2			
年齢	平均 80 歳	最低	65 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団修彰会沼崎病院・東光整形外科医院 医療法人社団淳彩会永山循環器科クリニック・中山歯科医院
---------	-------------------------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

交通の利便性が良い閑静な住宅街にあるグループホームである。玄関前には、職員と利用者が共に栽培した花々が飾られたり、畑ではトマトなどの野菜が作られ趣味や楽しみごとの支援がされると共に家庭的雰囲気を醸し出しながら身体機能の維持・向上にも配慮されている。共用空間は、清潔感が漂い明るく利用者が集まり花札や貼り絵、塗り絵などの趣味を活かせる場となっている。また、中庭では椅子やテーブルが配置され光の強さにも配慮されて季節感を味わえて利用者同士ゆっくり談笑できたり一人になれるスペースが用意されている。運営推進会議も評価日現在1回実施され、サービス提供についての意見交換が議事録として取りまとめられている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では冬期間を含めて外出の機会を多くつくる工夫について改善点としてあげられていましたが、行事の年間計画を作成して冬祭りへの参加や白鳥・動物園見学、買物ツアー、花見など積極的に外出の機会を多くつくり利用者の気分転換や心身のリフレッシュに取り組み改善されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に取り組みの中で、職員が評価に参加して新たな「気づき」や評価の意義を認識し合いながらケアサービスの質の向上に利用されています。管理者、職員は外部評価の結果について、改善の機会として捉え取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在1回実施されています。主な主題は運営推進会議の設置目的(地域密着型サービスについて)運営理念についてサービス提供の現況及び支援内容について年間予定についてその他(運営推進会議開催の要望や取り組みについて)
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	利用者一人ひとりの個々の家族に「たより」を毎月発行して、日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、健康状態など情報提供しつつ家族の意見や要望・不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、今後は「たより」を認知症に対する理解や広報のために活用していく取り組みも計画されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	年2回手作りの作品を持って訪問がある幼稚園児との交流や町内会への加入、老人会行事への参加、ボランティアの受入れなどを通じて地域の人達との積極的な交流促進に取り組む努力がされています。また、ホーム主催の焼肉パーティなどの行事や「たより」の発行、地域を代表する運営推進会議委員の意見を活かすサービスの取り組みなど日常生活を通じて地域との連携が行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念を職員は朝礼に於いて唱和し、互いに確認し合い職員間で共有されている。また、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念の重要性を月一度開催される介護ミーティングや朝礼、カンファレンスを通じて話し合い理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		今後は、職員個々の具体的な目標を掲げその達成度を管理者と共有できる取り組みも検討されている。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	幼稚園児との交流、町内会への加入や老人会への参加、地域の行事に参加、運営推進会議などで地元の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、自己評価も職員と共に取り組んでいる。また、前回の外部評価結果についても具体的な改善の機会と捉えて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在1回開催されている。メンバーは利用者の家族、地域の住民代表、提携医院の有識者、管理者・職員で構成され年間計画を立てサービス向上に具体的に取組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市との連携について、重要性を理解しておりケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月一度たよりを発行して、利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、スタッフの紹介などそれぞれの家族に情報提供して信頼関係の構築に努めている。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。</p>		<p>今後は、認知症に対する理解や啓発のために「たより」に認知症ワンポイント知識など掲載していくことも計画されている。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に投書箱を設置したり、自己評価・外部評価の結果を知らせたり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取組んだりして家族等の意見や苦情・相談が運営に反映されるように取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>「たより」で職員の紹介などして馴染みの管理者や職員によるサービスが受けられるように配慮している。また、運営者、管理者は職員の移動などで利用者に影響を与えないように取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>提携医療法人での研修会の参加や協議会などの外部研修参加を積極的に奨励している。また、参加者の報告会や送りなどで職員間で共有する取り組みがされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会・研究会への研修会の参加や他施設との交流など、ケアサービスの質の向上に取り組まれている。</p>		<p>今後は、他グループホームへの職員の見学や交流・相互訪問も計画されているので実現されることを期待しております。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して納得したサービスが受けられるように、入居前には利用者・家族の見学や説明で不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう職員間で相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、アセスメントに基づき利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握して、職員間で共有して本人の気持ちになった支えあう関係に取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>散歩や買い物、花見など積極的に外出の機会を多く作ったり塗り絵、貼り絵、習字などの趣味への支援や食事の準備、食の嗜好の把握など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		<p>今後はセンター方式を利用して利用者の生活歴をさらに把握して「私のわかること、私のわからないこと」「私のできること、私のできないこと」「私の気持ち」を職員間で共有して本人の気持ちになった支えあう関係を築いていく取り組みも検討されてみては如何か。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われ、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		<p>水分・食事摂取量、バイタルチェックなど個別記録に記載されケアサービスに活かされている。また、個別記録の簡素化と見易さについて検討されてケアサービスの向上に取り組まれている。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況やその時々々の要望に応じて、通院・自宅・リハビリへの送迎、散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	提携医療法人や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望、状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について医師と連携して利用者・家族とも相談し合いながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々の記録や個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した取り組みが行われている。また、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重して声かけなど支援するよう取り組まれている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの今の気持ちやアセスメントに基づいてペースを尊重して散歩、買い物、畑作業や食事の準備、洗濯物たたみ、掃除の手伝いなど本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備をしている。また、医師と相談しながら個々の状態に応じた調理方法や嗜好の把握、盛り付けも工夫されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週4日(月、火、木、金)と決めているが利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	アセスメントに基づいて、利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、畑での野菜の収穫、花壇作り、食事の準備、出前寿司や気分転換のための買い物、散歩、図書館訪問など外出も多くされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーでの買い物、散歩、動物園や白鳥見物、公園、図書館訪問など気分転換や心身のリフレッシュができるように積極的に外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には、チャイムが設置され鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき安全面で配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に火災避難訓練が年2回実施されている。		今後は、救急救命についても全ての職員が対応できるように訓練の計画がされている。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	具体的な水分・食事摂取量が記録されて栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握されている。また、提携医やそれぞれの主治医の指導・アドバイスも受けて支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居間や廊下には椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。また、中庭にも椅子やテーブルが置かれ日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室は、仏壇やタンス、冷蔵庫など使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、利用者の手作りの貼り絵などの作品や家族の写真などが飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。